

本邦初公開！

胡傑監督 インディペンデント・ドキュメンタリー作品 「星火」



封印された中国現代史に向かい合う

(第2回)

◎上映と討論………  
「中国知識人の地下活動と映像歴史学」

- ❖ 作品「星火」は、1960年中国甘肅省で発生した、知識人による反体制地下活動に対する政権の弾圧事件を扱ったドキュメンタリーである。関連した人物は200人にのぼり、首謀者は死刑になった。
- ❖ この事件は中国でタブー視され、あまり知られていない。昨年8月に北京で初上映が企画されたが、その映画祭そのものが当局によって中止におこまれた。まだ中国国内では上映されていない。
- ❖ 討論では、この事件の持つ歴史的な意味と、それを探究する方法としてのドキュメンタリーの問題を議論したい。



場所：専修大学神田校舎（地下鉄神保町）  
 日時：第1回上映 3月13日（金） 1900～2030 204教室  
 第2回上映 3月14日（土） 1500～1630 104教室

討論：3月14日（土） 1630～1800  
 コメント：佐藤 賢（首都大学東京・中国インディペンデント映画研究）  
 主催・問合せ：専修大学社会科学研究所土屋昌明グループ  
 the0561 @ isc.senshu-u.ac.jp

